

## こども未来コース（思春期編）

〔概要〕：思春期（中学生・高校生時代）は子どもが大人になる難しい時期で、いろいろな問題も生じます。子どもの身体・心理・役割の変化、子どもの環境・対人関係・文化の変化、さまざまな「悪」とのつきあい方、不登校の不思議さ、いじめのとめ方、話の聴き方などについて考えていきます。（全6回）

〔定員〕：20名

〔対象〕：広国市民大学の基本理念に賛同し、目標達成に向けて取り組もうとされる方で、思春期の子どもの発達に関心のある方

〔講師〕：広島国際大学 健康科学部 心理学科 准教授 鹿嶋 達哉

回数	日時	講座名	講座内容
1	10月22日（金） 10：00～11：15	思春期の子ども <span style="font-size: small;">の</span> こころ <span style="font-size: small;">の</span> 変化	思春期は子どもが大人になる難しい時期です。身体が急激に変化し、こころに目が向く一方で人の目が気になります。抽象的思考と感情の大きな揺れ、尊大感と卑小感、ひたむきさと無気力などの二面性に本人も周囲もとまどいます。思春期の子ども <span style="font-size: small;">の</span> こころ <span style="font-size: small;">の</span> 変化について考えていきます。
2	10月29日（金） 10：00～11：15	思春期の子ども <span style="font-size: small;">の</span> 環境 <span style="font-size: small;">の</span> 変化	思春期には周囲の環境も大きく変わります。「大人であること」「私であること（個性、秘密）」を示す持ち物が増え、親との関係、教師との関係、仲間との関係、異性との関係も大きく変わります。思春期の子ども <span style="font-size: small;">の</span> 変化を周囲の状況と結びつけながら考えていきます。
3	11月5日（金） 10：00～11：15	思春期における悪 <span style="font-size: small;">と</span> のつきあい方	思春期の子どもは非行や逸脱など「悪」に近づきます。また、「私はダメ」「私は間違っている」「今の私はつらく感じる」「今の私はいつわり」など自己評価が「悪く」なります。「私」を「世の中」「人との関係」に置き換えることもできるでしょう。思春期はどのような「悪」と接するのか、どのように「つきあっているのか」を考えていきます。
4	11月12日（金） 10：00～11：15	不登校とこころ <span style="font-size: small;">の</span> 発達	中学校のクラスに一人は不登校の子がいるという調査があります。しかし、クラスの子はどうして休んでいるのか、どんな気持ちでいるのか知らないことが多いようです。不思議なことに本人がわかっているとも限りません。なぜかわからないけど学校に行かなくなる（そして行くようになる）不登校の不思議さをこころ <span style="font-size: small;">の</span> 発達の面から考えていきます。
5	11月19日（金） 10：00～11：15	「いじめの政治学」を読む	いじめは複雑な現象です。中井久夫先生の「いじめの政治学」を読みながら、Why（なぜ起こるのか）ではなく、How（いかに進むか、とまらなくなるか）を考えていきます。
6	11月26日（金） 10：00～11：15	話をしっかり聴く	コミュニケーションの主役は聞き手です。聞き手は話の内容や深さを方向づけます。子どもとの関わりの成功例・失敗例から、いろいろな聞き方について考えていきます。

### ※留意事項

オンライン開講（Zoom）のため、受講にはZoomを利用できる環境が必要です。